

願文抄 がんもん しょう

伝教大師願文でんきょうだいしがんもんにのたまわく、

同音 ゆうゆう 悠悠たる三界さんがいは、純もつばら苦くにして安やすき

ことなく、擾じょうじょう々たる四生ししようは、唯ただ患うれいに

して楽たのしからず。

生いける時善ときぜんを作なさずんば、死しする日獄ひごくの

薪たきぎと成ならん。得えがた難たくして移うつり易やすきは、其そ

れ人身にんしんなり。発おこし難がたくして忘わすれ易やすきは、斯こ

れ善心ぜんしんなり。因いん無なくして果かを得うるは、是こ

の処ことわりあ有あること無なく、善ぜん無なくして苦くを免まぬが

るるは、是この処ことわりあ有あること無なし。

願ねがわくは、四弘誓願しぐせいがんに引いん導どうせられて、周あまね

く法界ほうかいに旋めぐらし、遍あまねく六道ろくどうに入り、

仏国土ぶつこくどを浄ぎよめ衆生しゅじょうを成じょう就じゆし、未みらい来いざい際さいを尽つ

くすまで恒つねに仏事ぶつじを作なさんことを。